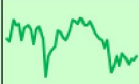


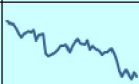
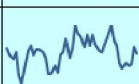


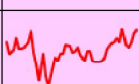
注目ポイント

- ✓先週、日米の主要株価指数が連日のように最高値を更新した。特に日本株は、米国の利下げ再開期待に加え、前週末に石破首相が辞任を表明したことを受け、次期政権への財政拡張期待が高まり、日経平均・TOPIXともに大幅な上昇となった。
- ✓今週注目の日米中銀の金融政策決定会合は、日本(18~19日)は政策金利の現状維持、そして米国(16~17日)は利下げ再開(2024年12月以来)が見込まれ、その幅は0.25%というのがコンセンサス。そんな中、今週の日本株は先週の急伸で過熱感が意識されるものの、新政権発足への期待や、中銀イベント通過後の押し目買い意欲が相場を支える可能性から、底堅い展開が予想される。ただし、日米中銀会合後の各トップの会見には注目したい。併せて出馬宣言が続く自民党総裁選の戦況にも注意を払いながら臨みたい。
- (門倉 英司)

2025年9月8日 ~ 2025年9月15日

市場・指標			9月8日 ~ 9月15日		9月15日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	 日本	日経平均 (円)	44,888	43,344	44,768	+1,749	+4.1%	
	 米国	NYダウ (ドル)	46,137	45,278	45,883	+483	+1.1%	
	 ドイツ	DAX (ポイント)	23,884	23,563	23,749	+152	+0.6%	

市場・指標			9月8日 ~ 9月15日		9月15日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	 日本	10年 (%)	1.595	1.540	1.590	+0.020	
	 米国	10年 (%)	4.10	3.99	4.04	-0.04	
	 ドイツ	10年 (%)	2.72	2.63	2.69	+0.03	

市場・指標			9月8日 ~ 9月15日		9月15日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	 米ドル (円)		148.58	146.31	147.42	-0.01	
	 ユーロ (円)		173.91	172.14	173.39	+0.65	
	 豪ドル (円)		98.43	96.73	98.34	+1.70	

市場・指標			9月8日 ~ 9月15日		9月15日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	 日本	東証リート (ポイント)	1,938	1,893	1,938	+48	+2.6%	
	 米国	NY原油 (ドル)	64.08	61.69	63.32	+1.5	+2.3%	
		NY金 (ドル)	3,725	3,622	3,721	+68	+1.9%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。 休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2025年9月16日 ~ 2025年9月19日

株式

過熱感を警戒も、底堅い展開か

日経平均
 【予想レンジ】 44,000 円 ~ 45,500 円

- 先週の日経平均は大幅上昇。石破首相の辞任表明を受け、次期政権の財政拡張期待を背景に日経平均は急伸。米国株高や海外投資家のハイテク株買いが相場を押し上げ、また翌週のFOMCでの米利下げ期待も支えとなり、週末からは連日で最高値を更新した。
- 今週の日経平均は底堅い展開か。先週の急ピッチの上昇で、過熱感が警戒される一方で、引き続き先高期待が相場を支えると見込まれる。今週は日米中銀の決定会合が予定されているが、「日本=現状維持」そして「米国=0.25%利下げ」が堅いコンセンサス。ポイントは米国で、パウエルFRB議長の会見で、さらに年内の追加利下げの機運が高まるかどうか。そうでなくてもイベント通過後は、新政権への期待から押し目買い意欲の強い相場展開が期待される。



金利(国債)

強含み(上昇)もみ合いか

10年国債利回り
 【予想レンジ】 1.570 % ~ 1.650 %

- 先週の国内金利は小幅に上昇。石破首相の辞任表明により財政拡張への懸念が高まり、超長期債には財政プレミアムを意識した売りが出やすい環境に。長期債もその売り圧力の影響を受けて金利が上昇。一方で、政治混迷で日銀が利上げに慎重になるとの思惑から短中期債が買われたことで、長期金利の上昇は限定的だった。
- 今週の国内金利は、強含みもみ合いの展開か。日銀会合(18~19日)では政策金利の据え置きが見込まれるが、会合後の植田総裁の会見が、追加利上げに含みを持たせた場合には、金利に上昇圧力がかかろう。また、利下げ再開が見込まれるFOMCにおいて、パウエルFRB議長が今後の追加利下げに慎重な姿勢を示すと、米金利の上昇を通じて国内金利が上昇する可能性も。



為替(米ドル)

ドル強含みのもみ合いか

米ドル/円
 【予想レンジ】 146.50 円 ~ 149.50 円

- 先週のドル円は、横ばい。日本の政治を巡る不透明感が円売りを誘った。一方、注目された8月の米CPIは市場予想とおおむね一致し、FRBが翌週の会合で利下げするとの観測を変えるほどの内容ではないとの受け止めから、米長期金利が低下し、ドル売りが優勢となる場面もあった。
- 今週のドル円は、ドル強含みのもみ合いか。今週のFOMCでは0.25%の利下げがコンセンサス。ただし、政策金利の見通しやパウエル議長の会見で、さらなる利下げ期待が剥落する可能性が高いと予想。その場合、ドル買い戻しが進もう。ただし、日銀決定会合は現状維持が見込まれるものの、植田総裁が会合後の会見で、追加利上げに含みを持たせる可能性もあり、その場合はドルの上値を抑えよう。

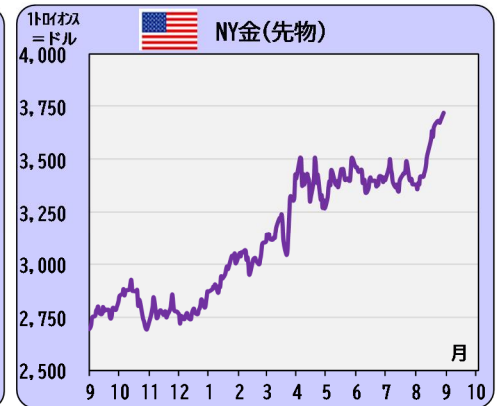
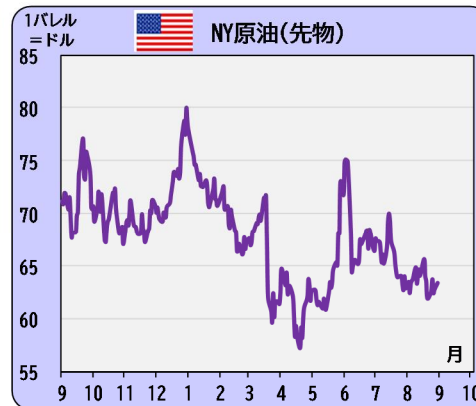
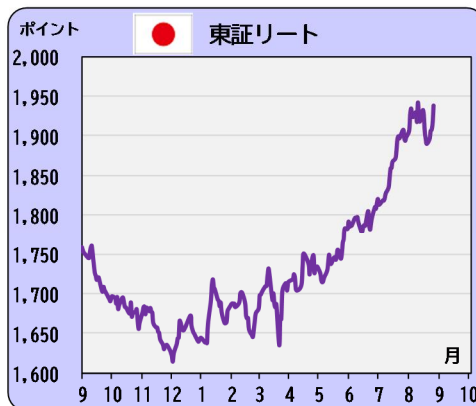
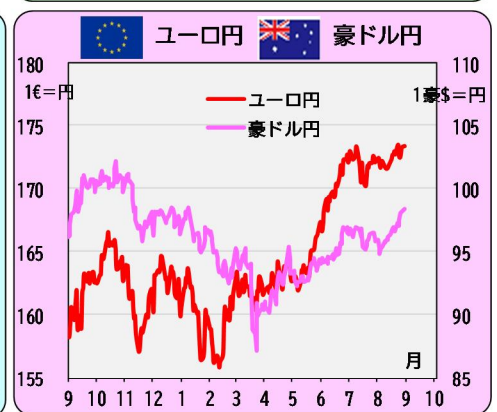
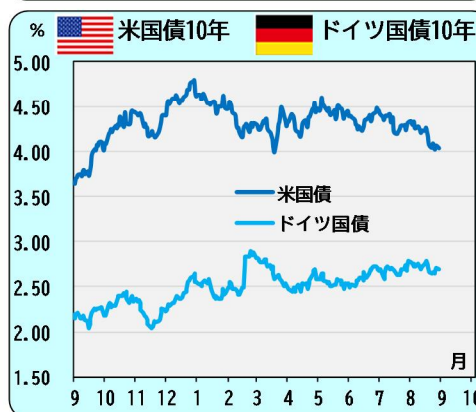
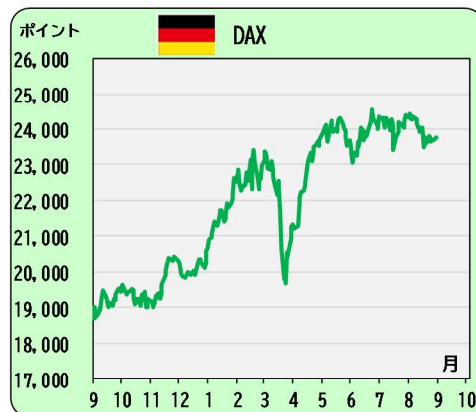
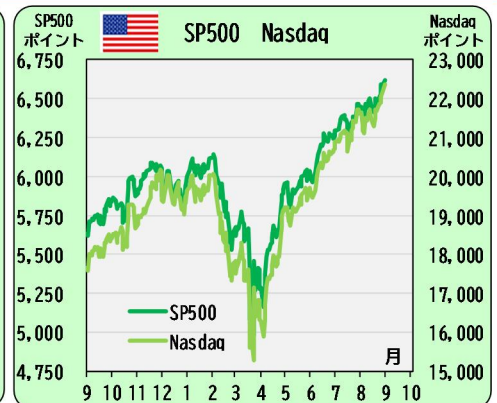
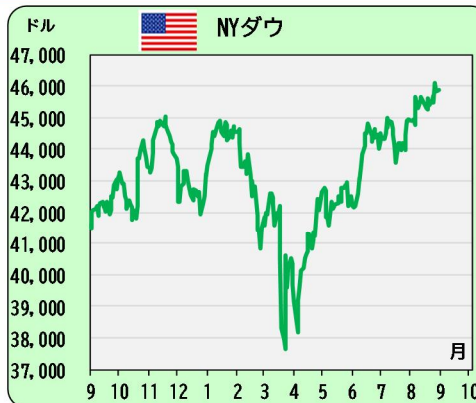


○今週の注目標 内容および日程が変更される場合があります。

月 日	国 内	海 外
9/15(月)	祝日(敬老の日)	
9/16(火)	第3次産業活動指数(7月)	米国: 国債入札(20年) 米国: 小売売上高(8月) 米国: FOMC(~17日)
9/17(水)	国債入札(20年) 貿易収支(8月)	米国: 住宅着工件数(8月)
9/18(木)	日銀金融政策決定会合(~19日) 機械受注統計(7月)	米国: フィラデルフィア連銀景気指数(9月) 米国: 景気先行指標総合指数(8月)
9/19(金)	CPI(8月)	

③その他チャート集

直近1年間



※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
AI	人工知能	FRB	米連邦準備理事会	PCE	個人消費支出
CTA	商品投資顧問	FTA	自由貿易協定	PER	株価収益率
CTFC	米商品先物取引委員会	GDP	国内総生産	PMI	購買担当者景気指数
CPI	消費者物価指数	IMF	国際通貨基金	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
ECB	欧州中央銀行	IEA	国際エネルギー機関	SQ	特別清算指数
ETF	上場投資信託	ISM	米供給管理協会	TPP	環太平洋経済連携協定
EU	欧州連合	OECD	経済協力開発機構	WSTS	世界半導体市場統計
FDI	海外直接投資	OPEC	石油輸出国機構	WTI	ウエストテキサスインターメディアート(原油)
FF	フェデラルファンド	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み		
FOMC	米公開市場委員会	PBR	株価純資産倍率		

●ご留意事項

- ・本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客様ご自身でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いいたします。